

令和2年度
学校関係者評価委員評価
最終評価

令和3年3月14日
IGL医療福祉専門学校

令和2年度学校関係者評価シート

適 切：4 ほぼ適切：3
やや不適切：2 不 適 切：1

No.	評価項目	自己 評価	学校関係者 評価	理 由 ・ 意 見
(1)	教育理念・ 目的・ 育成人材	3.5	4	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全体的に良いと思う。 ・ 私学の置かれている状況は厳しいと思う。子供の数が減少してきており、募集停止の高校も出てきている。生徒募集が最重要課題だと思う。手段としては、校舎をきれいにすとか、制服をかわいらしくすとかあるとは思いますが、重要なのは「売れる教育」を作ることだ。IGLには特徴的な学科があるのでそれをアピールしていく。 ・ IGLの知名度が低いとあったが、PRが下手だと感じたことがある。柔道の大会で、救急のお手伝いでIGLの学生に救急の席に座ってもらっているが、誰もそれがIGLの学生だと気づかない。もっと、学校名をPRすればよいのと思う。 ・ IGLの学生と教職員が同じ方向を向いて、教育に取り組むことが重要だと思う。例えば、金魚すくいの金魚を同じ方向に向けるには、餌ではなく水に流れを起こせば、流れに向かって同じ方向になる。その流れを起こすものが「隣人愛」ではないか。 ・ 教育活動は高い評価となっている。 ・ 卒業生が就職した後、どのように活躍しているかを数字で表すことはできないだろうか。 ・ 新型コロナ対応で、今後いろいろな変化に対応できる力がついたのではないか。 ・ 介護学科の学生が少ない。 ・ 学習成果は、長年の積み重ねの成果だと思う。 ・ 鍼灸学科が定員を満たすのはうれしい。博報堂とのタイアップが功を奏したのだろう。 ・ 様々な改善に取り組まれていて、うれしく思う。 ・ 新型コロナの影響で、ボランティア等は難しかったと思う。 ・ すずめの学校よりメダカの学校が望ましいと思う。 ・ 学校運営が重要だと思う。 ・ 介護学科が2割に満たないのは悲しい。外国人も広く視野に入れて募集し、学生の拡充に努めてほしい。
(2)	学校運営	3.3	3	
(3)	教育活動	3.8	4	
(4)	学習成果	3.3	3	
(5)	学生支援	3.2	3	
(6)	教育環境	3	3	
(7)	学生の受け 入れ募集	3.3	3	
(8)	財務	3	3	
(9)	法令等の 遵守	3.5	4	
(10)	社会貢献・ 地域貢献	3.7	4	
	総合評価	3.4	3.4	